

# 七つの農協が合併

## 農業の近代化を図る

### 新名称 今市地区農業協同組合

日光、小来川、今市、落合、大沢、豊岡、篠井振興の各農業協同組合が合併して農業の近代化と合理化を促進しようと、昨年十二月から話し合いをすすめてきました。このほど合併の基本方針がまとまり、十一月十三日、今市市役所で開かれた委員会において、合併予備契約書の調印が行なわれました。農協合併の目的は、経済の急速な発展にもなつて、農業もいちじらしい変化をきたしています。



予備契約書に調印する日光・今市両市長

出されます。なお、七つの農協が合併する

と、この地域内の農業人口は地域内総人口の二三・六%を占め

### 冬季の水道料を割り引きます

#### 各地区とも使用料の10%

寒さがきびしくなると、水道が凍つたり、水道の事故が多くなります。これを防ぐ方法として水道が凍らないように、細く放水しておくよう水道課では呼びかけていますが、そのために水道の使用量が増えるため、とくに寒さがきびしい期間だけ、つぎのとおり水道料を割り引きます。

●日光、清滝、細尾地区

- 一・二月の二カ月間
- 中宮祠地区
- 一・二・三月の三カ月間
- 湯元地区
- 十二月から三月までの四カ月間

各地区とも使用料の一〇%を割り引きます。ただし、定額枠または基本水量に達しないものは割引の対象になりません。なお、つぎのことに十分注意

してください。

### 盛況だった産業祭

#### 展示数は昨年を上回る



農産物の展示風景

ことしも十一月十八日から三

ることになり、この新しい農協の果たす役割は農業者の皆さん

から大きな期待がかけられています。

でしたが予想以上の人気を集めるなど活気あふれる産業祭でした。

◆品評会入賞者はつぎのとおりです。

日間、公会堂で産業祭が盛大に行なわれ、市内で生産された農産物をはじめ、まゆ、漬物、苗木などの品評会、ほり出し市などが行なわれました。農産物の出品点数は、漬物百三十一、林産物八十八点、農産物四百六十二点、その他九点の計六百九十点と昨年より多く、しかも優秀なものばかりで審査員をうならせる一幕もありました。中でも、三十坪菜園から生産された、ねぎ、山いもなど一般家庭からの展示品は、ひとときわ人目をひいていました。また、ほり出し市は、ことし初めての試み

- 一等 玄米 倉沢 重造
  - 野口 福田 安
  - 一等 大根 柴田 忠吉
  - 山久保 松本 邦夫
  - 一等 馬鈴薯 吉新泰次郎
  - 山久保 吉新泰次郎
  - 一等 白菜 山本 ミキ
  - 所野 雪森 ノブ
  - 一等 ねぎ 野口 敏雄
  - 野口 小杉 敏雄
  - 一等 漬物 植木 方平
  - 小倉山 大橋キン子
  - 東小来川 星野 昭司
  - 中小来川 福田 房
  - 一等 苗木 福田 房
  - 一等 なめこ 手塚 一夫
  - 山久保 手塚 一夫
  - 東小来川 大橋 光男
- なお、工業部門では、古河電工、古河アルミの製品その他が展示され、ひとときわ展示会を豪華にしてみました。その他、ミゼットハウスや、にわとりなどが展示され、参観者の目をさそっていました。